

令4年度第1回茨城県医療審議会（茨城県地域医療構想調整会議合同）会議録

1 日 時 令和4年8月5日（金） 15時00分から17時00分まで

2 場 所 茨城県庁13階 保健医療部会議室（Web会議として開催）

3 出席者 別添「参加者名簿」のとおり

4 議 事

（1）定足数の確認

事務局司会（医療政策課課長補佐 笹口）は、医療審議会について委員総数21名に対し、出席委員17名であることを確認し、茨城県医療審議会運営要領（以下「要領」という。）第4条第2項に規定する定足数に達したことを宣した。

（2）出席者の紹介

新任である茨城県社会福祉協議会副会長の森田委員、国立病院機構水戸医療センター院長の米野委員、茨城県消防長会会長の大内委員を紹介した。

（3）事務局の紹介

病院事業管理者の軸屋、保健医療部長の森川、保健医療部次長の砂押ほか、保健医療部及び福祉部、病院局の関係課長等が出席していることを報告した。

（4）議長の選任

要領第4条第1項の規定により、鈴木会長が議長に就いた。

（5）会議の公開

事務局司会は、本会議を公開とすることについて意見を求めたところ、異議なく承認された。

（6）会議録署名人の指名

議長は、要領第11条第1項の規定に基づく会議録署名人に、松崎委員及び横濱委員を指名した。

（7）議事

議長は、事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換（別紙参照）が行われた。

●諮問事項

地域医療連携推進法人の認定について

●報告事項

①第7次茨城県保健医療計画の進捗状況について

②第8次茨城県保健医療計画の策定について

③令和4年度外来機能報告について

④地域医療構想の推進について

⑤令和4年度病床機能再編支援補助金に係る病床の削減について

⑥令和4年度医師派遣調整に係る医師派遣要請について

⑦地域医療介護総合確保基金に係る令和3年度事業の事後評価について

⑧地域医療支援病院の業務に関する実績報告について

⑨地域医療連携推進法人に係る取組状況について

⑩届出により一般病床を設置する診療所に係る報告について

以上をもって全ての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。

上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和 4年 9月 8日

茨城県医療審議会会長

鈴木邦彦

会議録署名人

横濱 明

会議録署名人

松崎 信夫

令和4年度 第1回 茨城県医療審議会
 (茨城県地域医療構想調整会議 合同)

参加者名簿

○ 委員

区 分		役 職 名	氏 名	摘 要
医療を提供する立場にある者	医師会	茨城県医師会会長	鈴木 邦彦	会議室出席
	医師会	茨城県医師会副会長	松崎 信夫	会議室出席
	歯科医師会	茨城県歯科医師会会長	榎 正幸	オンライン参加
	薬剤師会	茨城県薬剤師会会長	横濱 明	オンライン参加
	自治体病院協議会	全国自治体病院協議会茨城県支部長	島居 徹	オンライン参加
	私立病院	茨城県精神科病院協会会長	高沢 彰	欠 席
	医療法人	茨城県医療法人協会理事	伊藤 道子	欠 席
医療を受ける立場にある者	市町村	茨城県市長会会長	山口 伸樹	オンライン参加
	保険者	茨城県保険者協議会代表	木城 洋	オンライン参加
	被保険者(福祉)	茨城県社会福祉協議会副会長	森田 百合子	会議室出席
	被保険者(介護)	茨城県介護支援専門員協会副会長	浅野 有子	欠 席
	被保険者(女性)	茨城県女性団体連盟代表	本多 美知子	オンライン参加
学識経験のある者	医学	筑波大学理事・附属病院長	原 晃	会議室出席
	公衆衛生	筑波大学教授	我妻 ゆき子	オンライン参加
	地域医療	筑波大学教授	田宮 菜奈子	欠 席
	看護	茨城県看護協会会長	白川 洋子	オンライン参加
	栄養管理	茨城県栄養士会会長	入江 三弥子	オンライン参加
	救急業務	国立病院機構水戸医療センター院長	米野 琢哉	オンライン参加
	救急業務	茨城県消防長会会長	大内 康弘	オンライン参加
	法律	弁護士	上 嶋 佳子	オンライン参加
	その他	茨城県議会議員	海野 透	会議室出席

○ 各構想区域調整会議議長等

役 職 名	氏 名	摘 要
水戸地域医療構想調整会議議長 (水戸市医師会長)	細 田 弥太郎	オンライン参加
日立地域医療構想調整会議議長 (多賀医師会長)	横 倉 稔 明	オンライン参加
常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議議長 代理 (ひたちなか保健所長)	牛 尾 光 宏	オンライン参加
鹿行地域医療構想調整会議議長 (鹿島医師会長)	松 倉 則 夫	オンライン参加
土浦地域医療構想調整会議議長 (土浦市医師会長)	小 原 芳 道	オンライン参加
つくば地域医療構想調整会議議長 代理 (つくば保健所長)	野 田 秀 平	オンライン参加
取手・竜ヶ崎地域医療構想調整会議議長 代理 (竜ヶ崎保健所長)	石 田 久美子	オンライン参加
筑西・下妻地域医療構想調整会議議長 (真壁医師会長)	榎 戸 久	オンライン参加
古河・坂東地域医療構想調整会議議長 代理 (古河保健所長)	大 谷 幹 伸	オンライン参加

○ 事務局（茨城県）

役 職 名	氏 名	摘 要
保健医療部長	森 川 博 司	会議室出席
保健医療部次長兼医療局長	砂 押 道 大	会議室出席
保健医療部医療局医療政策課長	中 村 珠 美	会議室出席
保健医療部医療局医療人材課長	小 野 幸 子	会議室出席
保健医療部保健政策課長	前 川 吉 秀	会議室出席
保健医療部感染症対策課長	山 口 雅 樹	会議室出席
保健医療部健康推進課長	川 上 智 美	会議室出席
保健医療部健康推進課 がん・生活習慣病対策推進室長	伊 東 正 憲	会議室出席
保健医療部薬務課長	長 洲 敦 子	会議室出席
保健医療部生活衛生課長	松 本 徹	オンライン参加
福祉部障害福祉課長	森 田 教 司	オンライン参加
福祉部少子化対策課長	糸 賀 正 美	オンライン参加
福祉部子ども未来課長	長 島 ゆみ子	オンライン参加
病院局病院事業管理者	軸 屋 智 昭	会議室出席
病院局経営管理課長	島 田 敏 次	会議室出席
病院局経営管理課企画室長	丹 茂 樹	オンライン参加

令和4年度第1回茨城県医療審議会（茨城県地域医療構想調整会議合同）

質疑応答要旨

日時：令和4年8月5日（金）

15時00分から17時00分まで

場所：茨城県庁13階保健医療部会議室
（Web会議として開催）

●諮問事項

① 地域医療連携推進法人の認定について

鈴木会長 大森医院の病床を小豆畑病院に融通することについて、療養病床を一般病床に転換するようであるが問題ないのか。審議が必要ではないのか。

事務局 制度としては問題ない。病床融通に関することについては、次回の医療審議会において詳細をご説明させていただき、ご意見を頂戴したい。

鈴木会長 大枠が決まった後に調整をするということで了解。地域医療連携推進法人の認定についての知事からの諮問に対しては、審議の結果、差し支えないものと答申してよろしいか。

～ 異議なく承認 ～

●報告事項

① 第7次茨城県保健医療計画の進捗状況について

木城委員 協会けんぽでは、県の認定前のステップとして、健康経営をこれから始める事業所を対象に、健康宣言事業所として認定する事業に注力している。

茨城県、経済4団体及び保険者団体2社で締結した協定（7社協定）を活用し、オール茨城による健康経営の一層の普及に向けた具体的かつ一体となった推進策を県に中心となって策定いただきたい。また、会議の開催実績もないため、7社協定の活用を核に県全体として大々的な取組をお願いしたい。

健康推進課 本県では健康いばらき21推進事業として、各事業所による健康経営の取り組みを促進しており、協会けんぽなどにもご協力いただきながら事業を推進してまいりたい。7社協定の活用については検討させていただく。

鈴木会長 各企業における健康経営の推進は生活習慣病予防にも繋がっていくかと思われる。ぜひ県としても推進されると良いのではないかと。数値目標があってもいいかもしれない。

② 第8次茨城県保健医療計画の策定について

③ 令和4年度外来機能報告について

鈴木会長 「地域の協議の場」というのは、二次医療圏単位の地域医療構想調整会議を指しているのか。また、協議が行われる時期は来年の1月から3月頃ということか。

事務局 そのとおり。公表ができるよう期限を定めてお願いしたいと考えている。

④ 地域医療構想の推進について

鈴木会長 急性期にこだわる事例が多く、埼玉方式や静岡方式、佐賀方式など全国的に様々な手法が取られている。そこで軽症急性期という区分を設けて整理しようとするのは理解ができるし、2025年の姿に近づいてくるのではないかと。平均在棟日数22日以上というシンプルな考え方であり、妥当と思う。

非稼働病床の削減にあたっては、病床機能再編支援補助金の活用が可能であるため、県には引き続き広報していただきたい。

また、コロナ禍を踏まえ、高度急性期病院の集約化、地域包括ケアに取り組む中小規模病院及び有床診療所の分散化の二つが大きな柱になると考える。さらに、かかりつけ医機能の充実強化が相互に関連しながら医療計画において議論が進んでいくのではないかと考える。指針については今年度国で策定されるので、来年度はそれに基づいた発表が本県でも進んでいくと思う。

⑤ 令和4年度病床機能再編支援補助金に係る病床の削減について

原委員 資料5-18に記載の友愛記念病院の病床機能の内訳と、資料6-2に記載の内容が異なるのはなぜか。

事務局 両者の違いは病床機能の再検討を行った結果によるものであり、資料6-2は再検討前の許可病床数を基にした数値、資料5-18は定量的基準を踏まえて再検討を行った結果の数値である。

資料5-18において、友愛記念病院を定量的基準の静岡県方式に当てはめると、急性期とされていた二病棟（各44床、57床）は高度急性期に分類でき、同様に一病棟（14床）は回復期に分類される。このため、資料6-2に比べて、高度急性期が101床、回復期が14床増加する一方で、急性期が115床減少し、それぞれのページにおける病床数の内訳の違いが生じている。

なお、再検討結果が適切であるかどうか懸念があり、見直された理由や実態との乖離について、改めて各調整会議において再検討をお願いしたいと考えているところ。

原委員 地域医療構想調整会議の求めているところが資料5-18であり、医療機関から自主的に出てきたものと乖離しているのが今の地域医療構想調整会議の問題点だろうと思う。今回そこが端的に出たものと思うので、地域医療構想調整会議のあり方というか、こういう病床数にしていくんだという方向性を県の方から強く打ち出していきたい。

⑥ 令和4年度医師派遣調整に係る医師派遣要請について

鈴木会長 これまでは各病院が自院の希望で医師派遣を要望していたが、今後は地域医療構想調整会議において、地域で求められる機能を確認した上で医師派遣要望を行うこととなった。前提として、新型コロナウイルス感染症への対応の協力もお願いしたい。

⑦ 地域医療介護総合確保基金に係る令和3年度事業の事後評価について

鈴木会長 当該基金の活用においては、官民偏らないよう民にもしっかり配分するようにと国から方針が示されているかと思うが、現在の官民比率はいかがか。

事務局 公民比率は公的51.4%、民間48.6%である。

⑧ 地域医療支援病院の業務に関する実績報告について

鈴木会長 二次医療圏単位で見ると、地域医療支援病院は筑西・下妻には令和3年度に1ヶ所できたが、鹿行には現状まだない。県としてどのように考えるのか。

事務局 地域医療構想調整会議で意見交換しながら、議論してまいりたい。

松倉鹿行地域医療構想調整会議議長 地域医療支援病院に該当しそうな病院は二病院あるが、紹介率・逆紹介率の基準を満たすことが難しく課題となっている。

⑨ 地域医療連携推進法人に係る取組状況について

⑩ 届出により一般病床を設置する診療所に係る報告について

【当日追加議題】新型コロナウイルス感染症関係について（報告）

鈴木会長 県の説明要旨は、みなし陽性患者について、本県ではやらないということだったが、そうも言っていない状況であるということと、陽性者の届出を簡素化するということか。また、オンライン診療の更なる活用ということか。この後開催される医師会の理事会で特に異論がなければ、来週早々にでも連名で発出したいと思う。

以上。